

平成 27 年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	皮膚を場とする外的刺激に対する生体応答機構の包括的解明
研究代表者	梶島 健治（京都大学・大学院医学研究科・教授）
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
審査結果の所見	本研究は、応募者自身が提唱した皮膚における重要な免疫組織である iSALT に関する独創的な研究である。皮膚の包括的な可視化技術を基に、外的刺激・皮膚常在菌等に対する生体応答過程を明らかにし、皮膚疾患の発症機序に迫る研究計画である。国際的にも独創性が高い研究であり、その成果は様々な診断機器開発や創薬、更に、腸管を含めた種々のバリア臓器に関する研究につながる可能性が高い。実績に裏付けされた研究遂行能力も十分で、ハイレベルの大きな成果が期待できる。 以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。